令和６年度大学・高専機能強化支援事業
（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
事業概要

令和6年2月申請時点

1.基本情報

大学名	兵庫大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	兵庫
大学全体の総収容定員	1,719 名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	現代ビジネス学部　現代ビジネス学科 健康科学部　栄養マネジメント学科 健康システム学科 看護学部　看護学科 生涯福祉学部　社会福祉学科 生涯福祉学部　こども福祉学科（令和4年度学生募集停止） 教育学部　教育学科		

事業計画名	デジタル×ビジネスによる地域の課題解決をけん引するデジタルアーキテクト人材育成

2.事業概要

令和8年度に現代ビジネス学部にデジタルビジネス学科を設置する。本学科では、**デジタル実装による地域の課題解決をけん引するビジネスアーキテクト**を目指せる人材を養成する。本事業は、日々技術革新が起こっているデジタル分野において、即戦力として活躍できる人材を養成するため、**「デジタルの徹底的活用による個別最適の学び」「今使われている技術で学ぶ」「地域貢献型PBL」**を特長とした教育プログラムを構築する。そのため、フェーズ1においては、デジタルビジネス学科の設置に向けた教育連携企業等の開拓や、即戦力として必要となる能力や現場の情報収集、社会人を対象としたリカレントプログラムの実施と教育効果の検証を行う。フェーズ2では、デジタルビジネス学科設置に伴う新校舎建築、機器購入等を行う。また、教育連携企業等との教育プログラムの構築やワークショップを開催し、連携を深める。フェーズ3では、実務家教員の協力を得ながら、教育連携企業等と「即戦力として現場で必要な力」を身に付けるための教育プログラムの構築、現場での実践、教育効果の検証、教育改革を進める。

3.本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和８年度					
認可申請・届出の別	認可申請及び届出					
改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	現代ビジネス学部デジタルビジネス学科					
設置等組織の学位分野	経済学関係	工学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	兵庫県加古川市					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	50 名					
他学部等の入学定員の減少数	30 名					

支援1　学部再編等による特定成長分野への転換等の構想について

令和6年度　兵庫大学

事業計画名	デジタル×ビジネスによる地域の課題解決をけん引するデジタルアーキテクト人材育成

基本情報

改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	現代ビジネス学部デジタルビジネス学科	入学定員増数(合計数)	50名
所在地	兵庫県加古川市	改組内容	既存学部における学科の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	－

社会・地域の課題とニーズ

- 神戸市～姫路市の都市部の企業
  デジタル・データ活用力が新卒採用における要件
- 加古川市・神戸市・姫路市等DXが活発な自治体
  データを活用して施策を推進する人材の不足
- 三木市・小野市
  デジタルマーケティングを活用する人材が必要

地域や企業等との連携

- 兵庫県南部地域との連携

【具体的な事前協議先候補】
- ✓ 神戸市の地域ICT推進協議会COPLTを通じた地元IT企業
- ✓ 加古川市・高砂市・稲美町などの自治体、地域の信用金庫や農協、地域作りのコンサルタント等
- ✓ 北播磨地域から全国に向け独自の展開を推進する三木市の神沢鉄工や西脇市の株式会社ブレインなど

- 地元企業や団体への専門知識や技術の提供
  - ✓ 研修やワークショップの開催
  - ✓ データ分析と提案
- クロスアポイントメント制度を活用した実務家教員の採用

社会の第一線で活躍する先端デジタル企業の社員やDXに取り組む自治体等の職員主導プロジェクト

【テーマ例】
デジタルヘルス・コミュニケーションデザイン・伝統産業のデジタル化、DXによる社会課題解決、検索キーワードの分析など多岐に渡る

現代ビジネス学部デジタルビジネス学科【新設】

育成する人材像

デジタル実装による地域の課題解決をけん引する**ビジネスアーキテクト**を目指せる人材

キャンパスにデジタルの学びのモデル棟を設置
ネットワークの整備・ICTを活用した演習に対応可能なフレキシブルな教室群・個別最適な学びのプラットフォーム構築

フィールドワーク拠点の整備
最寄り駅の東加古川駅前のサテライトにおいてコワーキングスペースの設置

学科のコンセプト

経済と経営の基本とITリテラシーの学びを土台とし、**現役実務家教員主導の実課題を扱うプロジェクトを核とした超実践志向の学び**を展開

教育内容

実務家主導プロジェクト　……

プロジェクトを支える専門科目群(目的志向な体系化)

経済・経営、ITに関する基礎科目

特徴①　デジタルの徹底活用による個別最適な学び
- 授業のハイフレックス化・オンデマンド化
- ラーニングアナリティクスの活用

特徴②　今使われている技術で学ぶ
- 現場で実際に活用されているツールの活用
- 実社会で必要となるスキルを磨く

特徴③　地域貢献型PBL
- 本学が培ってきた地域とのネットワークを活用して多くの企業・団体と連携
- 実務家教員と基幹教員との密な連携による目的志向の科目間連携を強化
- 現実社会や課題と直面することにより学ぶ必然性を持たせる教育プログラム

本学のデジタル教育力強化の取組

現代ビジネス学部の設置
経済・経営学と情報学を学び両者を橋渡しする人材の育成

現代ビジネス学科にデータサイエンス専攻設置

ICTデータ活用副専攻の全学設置

MDASH認証取得

現代ビジネス学部

現代ビジネス学科【既設】

多様な入学者の確保

- 高校生
  - ✓ 文系・理系の別なく募集
  - ✓ 高校での出前授業やPBL・QFTを活用した探求学習の指導を通した本学の学びの発信
  - ✓ 高校生のデジタルビジネスに関する実態を調査し、検証結果に基づく教育改革を実施
- 留学生
  - ✓ 特にアジア圏に注力した効果的な留学生受け入れプログラムの構築
  - ✓ 定期的な人的交流
  - ✓ 学園全体の国際化推進
- 社会人
  - ✓ 生涯学習機関(エクステンション・カレッジ)における実践的なリカレント講座の開催によるデジタルへの興味関心の促進
  - ✓ 社会人入試による積極的な受け入れ